

内外水統合型の水害リスクマップ
多段階浸水想定図
＜説明資料＞

令和8年3月31日
佐伯河川国道事務所

本題の前に・・・頻度とは

➤水害リスクマップには「高頻度（1/10）」などの記載がありますが、これは「毎年10%の確率で浸水する」という意味であり、10年間に必ず1度浸水するという意味ではありません。また3年前に浸水したのであと7年は浸水しないというわけでもありません。

高頻度（1/10）の浸水地点における1年間の発生確率

現時点～1年後の期間で 浸水する確率	1年後～2年後の期間で 浸水する確率	2年後～3年後の期間で 浸水する確率	4年後～5年後の期間で 浸水する確率
10%	10%	10%	10%

中頻度（1/50）の浸水地点における1年間の発生確率

現時点～1年後の期間で 浸水する確率	1年後～2年後の期間で 浸水する確率	2年後～3年後の期間で 浸水する確率	4年後～5年後の期間で 浸水する確率
2%	2%	2%	2%



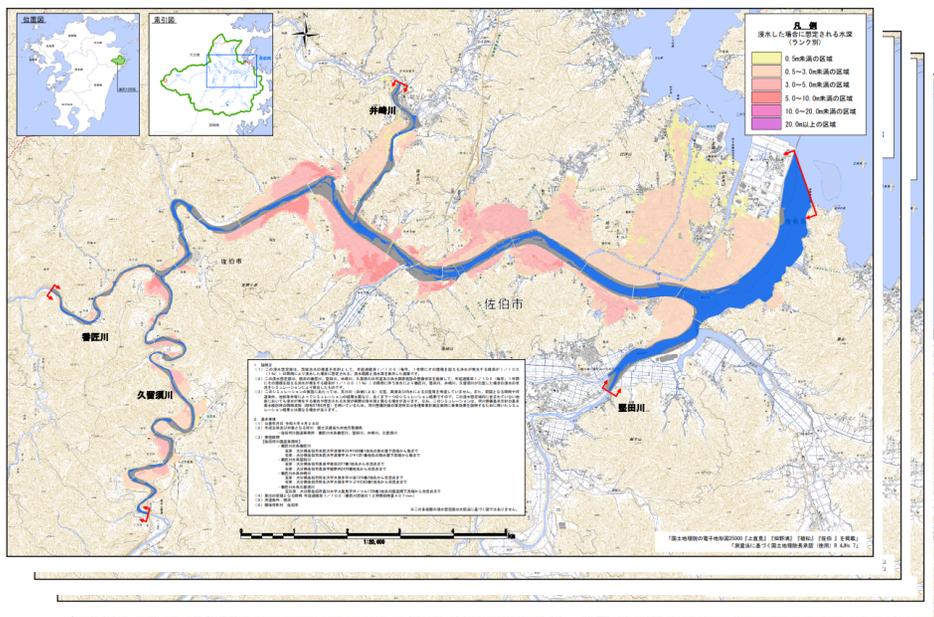
多段階浸水想定図、水害リスクマップとは

➤佐伯河川国道事務所では、河川の氾濫時に住民の方たちの迅速かつ円滑な避難のための各地区の浸水深がわかる情報として、 $W=1/10\sim 1/100$ の降雨を対象とした「**多段階浸水想定図**」と土地利用や住まい方の工夫のための情報として各地区の浸水頻度がわかる情報として、各頻度の降雨を対象とした「**水害リスクマップ**」を公表しています。

多段階浸水想定図でわかる情報

浸水する恐れのある範囲

頻度ごとの浸水深

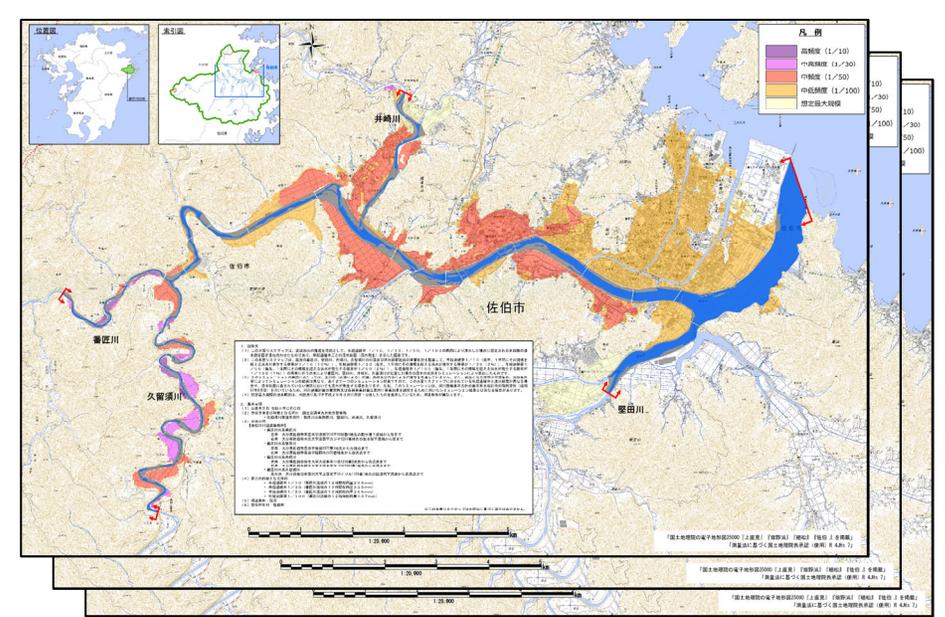


番匠川水系多段階浸水想定図(W=1/10~1/100)

水害リスクマップでわかる情報

浸水する恐れのある範囲

浸水深ごとの浸水頻度



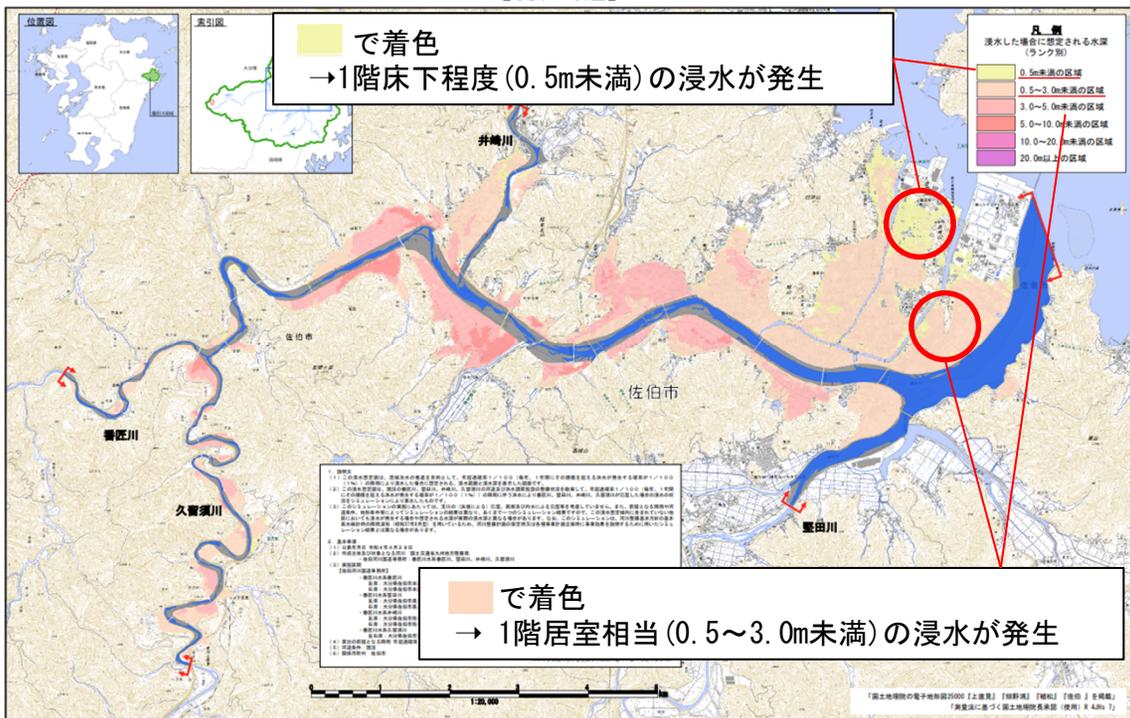
番匠川水系水害リスクマップ (0cm以上、50cm以上、3m以上)

多段階浸水想定図とは

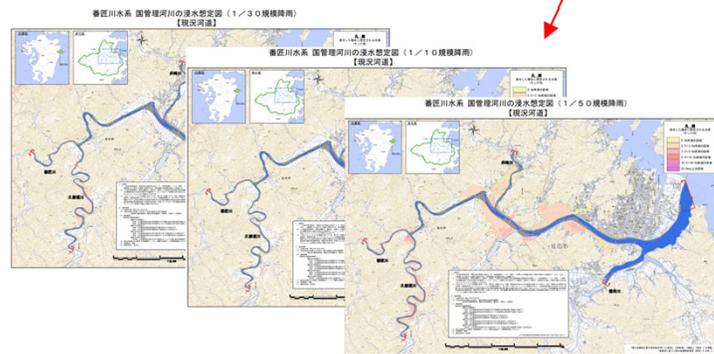
- 「多段階浸水想定図」とは、発生頻度ごとに**浸水範囲**と**浸水深**を示した図のことで1/10、1/30、1/50、1/100の全4パターンあります。
- 主に、避難が必要な場所や安全な場所の把握といった**避難行動**に活用されます。

発生頻度 1/100のケース

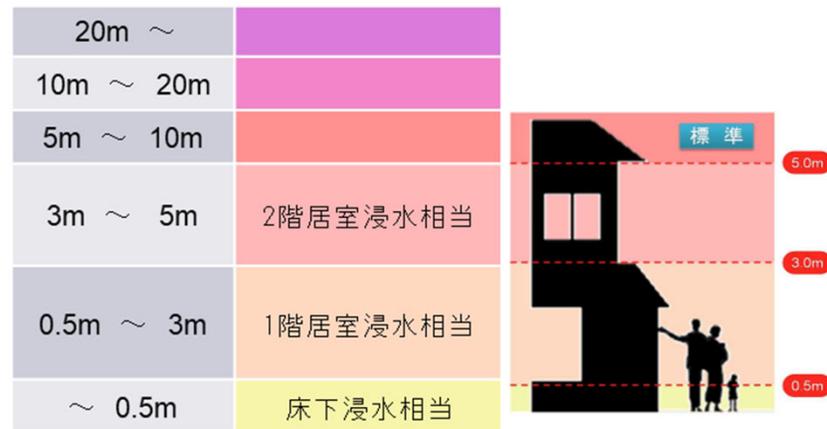
番匠川水系 国管理河川の浸水想定図 (1/100規模降雨)
【現況河道】



より頻度の高い降雨についても情報を確認できる (1/10、1/30、1/50)



浸水深の色分け

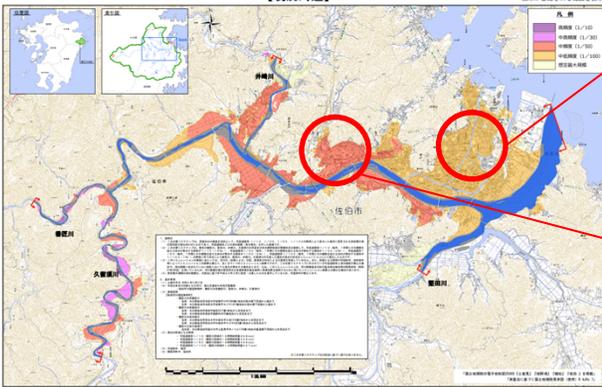


水害リスクマップとは

- 「水害リスクマップ」とは、浸水深ごとに**浸水範囲**と**浸水頻度**を示した図のことで、浸水深が0cm以上、50cm以上（床上浸水以上）、3.0m以上（1階居室浸水以上）の全3パターンあります。
- 主に土地利用や企業の立地選択といった**防災まちづくりの検討**に活用されます。

番匠川水系、浸水深が0cm以上のケース

番匠川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】

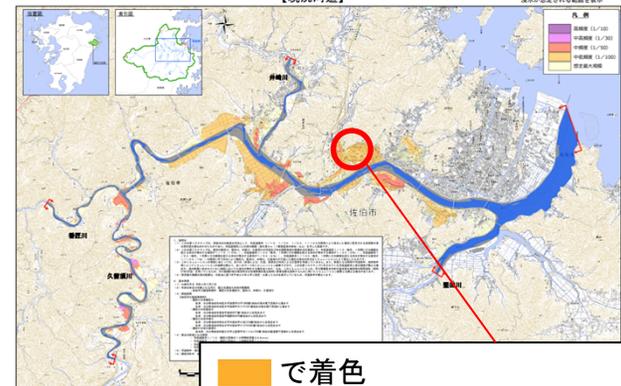


で着色
→1年間に1%の確率で浸水が発生（中低頻度）

で着色
→1年間に2%の確率で浸水が発生（中頻度）

番匠川水系、浸水深が3.0m以上（1階居室浸水以上）のケース

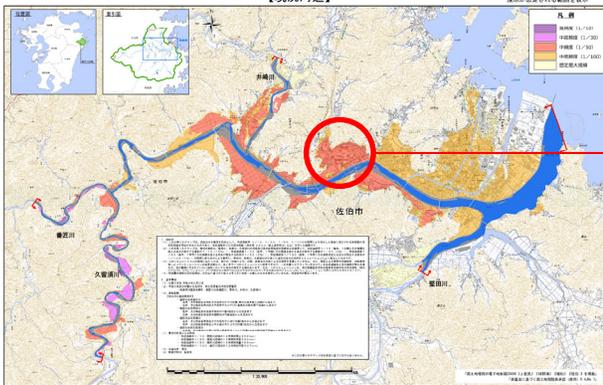
番匠川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】



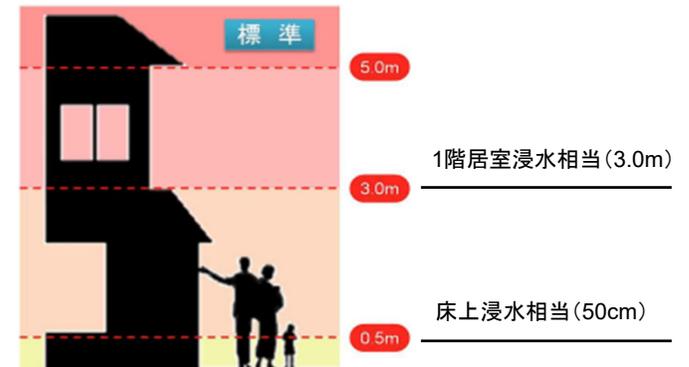
で着色
→1年間に1%の確率で降雨で3.0m以上の浸水が発生（中低頻度）

番匠川水系、浸水深が50cm以上（床上浸水以上）のケース

番匠川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【現況河道】



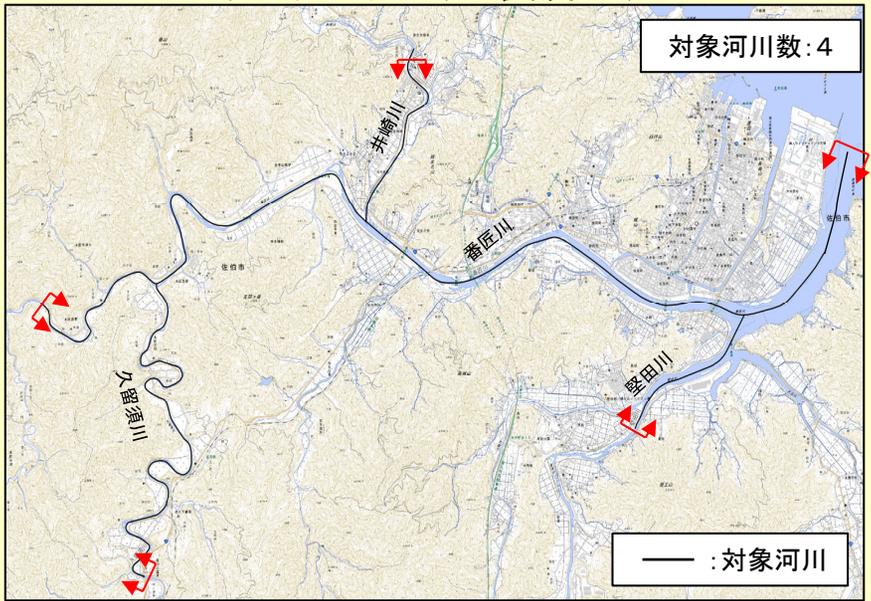
で着色
→1年間に2%の確率で50cm以上の浸水が発生（中頻度）



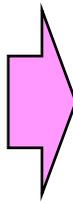
内外水統合型の多段階浸水想定図、水害リスクマップでの変更点

- 直轄管理河川だけでなく、県や市管理の河川、下水道等からの氾濫についても考慮したものを「**内外水統合型**の多段階浸水想定図、水害リスクマップ」といいます。
- 内外水統合型では主要でない河川と雨水幹線による内水も考慮することで、これまでは見えていなかった内水による浸水範囲、浸水深が確認できるようになりました。

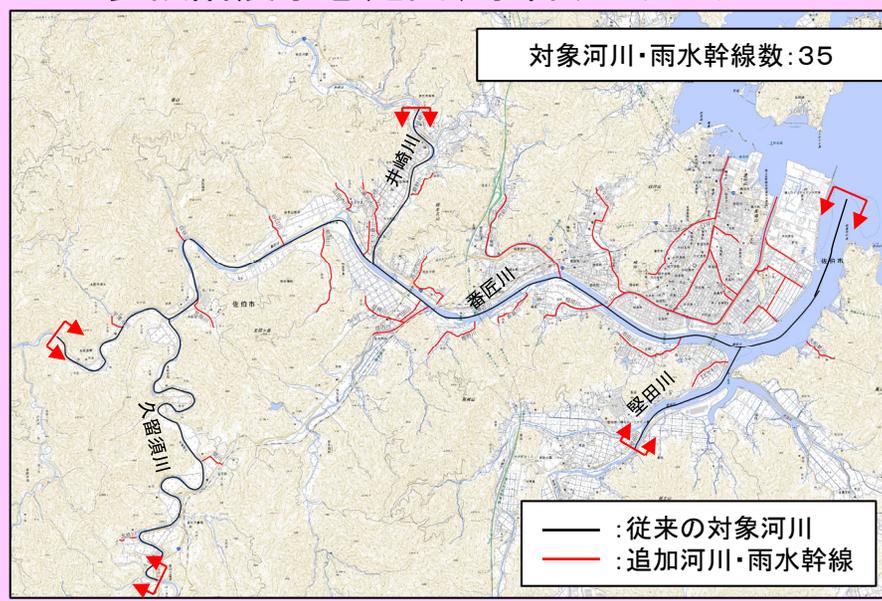
従来の多段階浸水想定図
リスクマップ(公表済み)



多段階の浸水想定図 4種類	水害リスクマップ 3種類
<ul style="list-style-type: none"> W=1/100(中低頻度) 12時間の総雨量407mm W=1/50(中頻度) 12時間の総雨量366mm W=1/30(中高頻度) 12時間の総雨量335mm W=1/10(高頻度) 12時間の総雨量268mm 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水深0cm以上 W=1/10~想定最大規模 浸水深50cm以上 W=1/10~想定最大規模 浸水深3m以上 W=1/10~想定最大規模



内外水統合型
多段階浸水想定図、水害リスクマップ

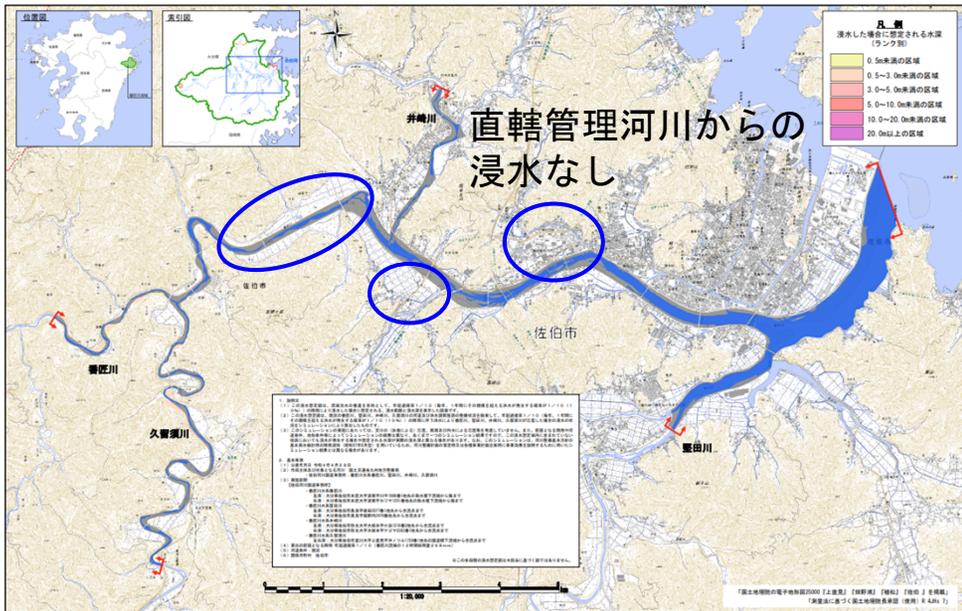


多段階の浸水想定図 4種類	水害リスクマップ 3種類
<ul style="list-style-type: none"> W=1/100(中低頻度) 12時間の総雨量407mm W=1/50(中頻度) 12時間の総雨量366mm W=1/30(中高頻度) 12時間の総雨量335mm W=1/10(高頻度) 12時間の総雨量268mm 	<ul style="list-style-type: none"> 浸水深0cm以上 W=1/10~想定最大規模 浸水深50cm以上 W=1/10~想定最大規模 浸水深3m以上 W=1/10~想定最大規模

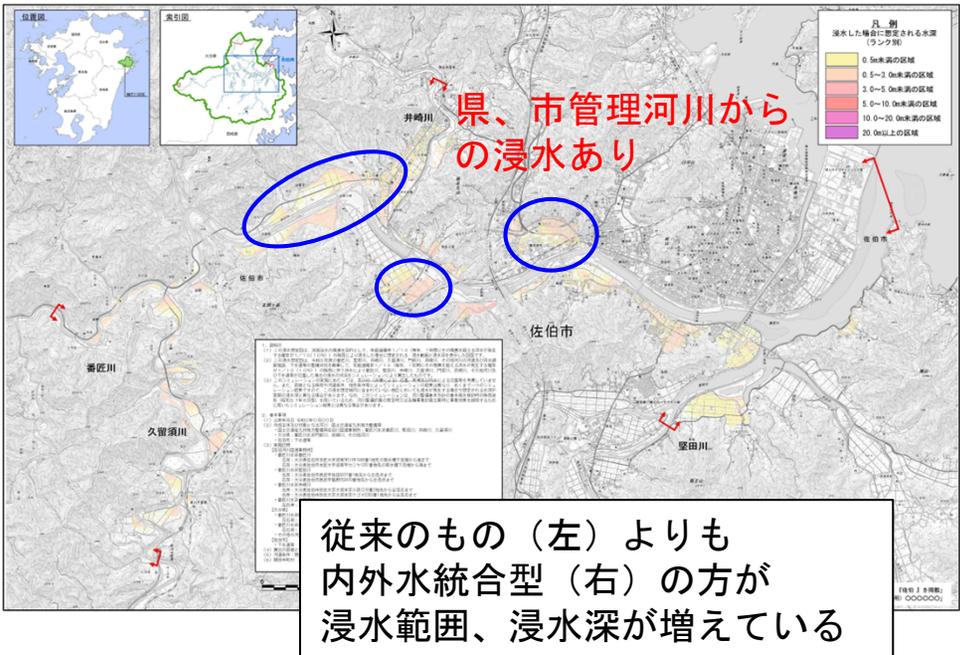
内外水統合型の多段階の浸水想定図

➤ 現在公表済みの多段階の浸水想定図と根本的な考え方は同じですが、県や市管理河川・下水道からの氾濫についても考慮されているため、高頻度(1/10)や中高頻度(1/30)における浸水範囲や浸水深が異なっています。

従来の多段階の浸水想定図、発生頻度1/10のケース



内外水統合型、発生頻度1/10のケース

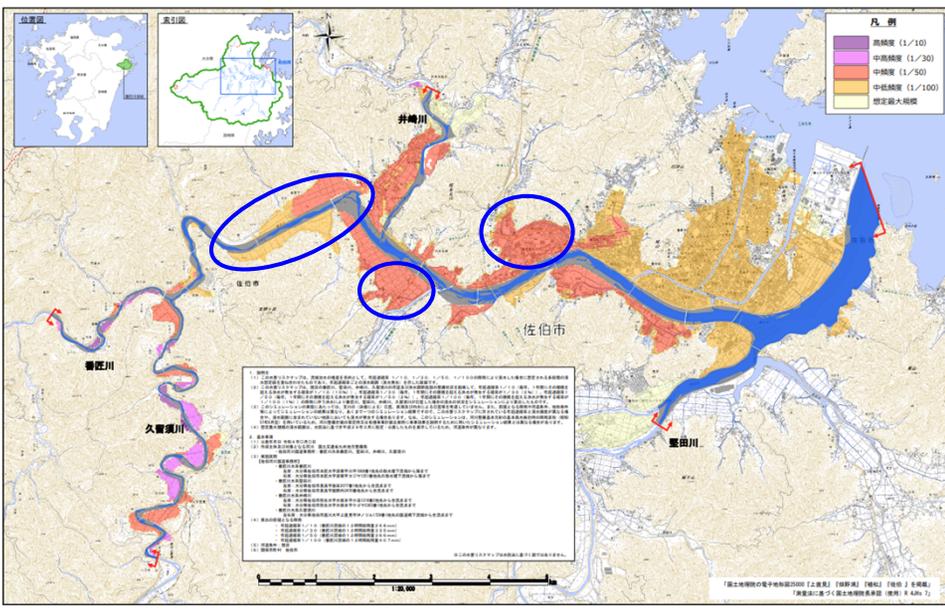


県、市管理河川などを考慮することで、これまでは見えていなかった水害リスクが見えるようになった

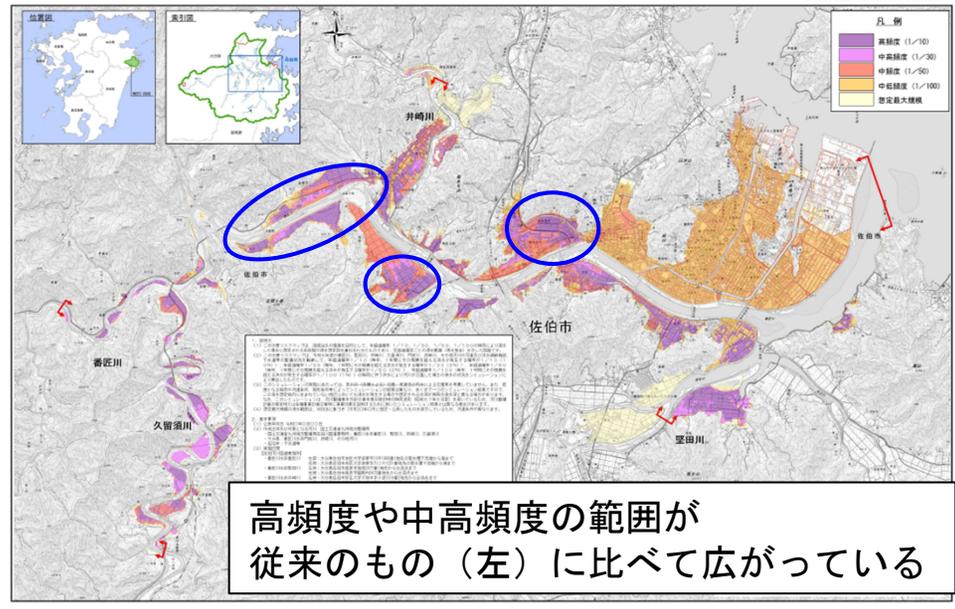
内外水統合型の水害リスクマップ

➤ 現在公表済みの水害リスクマップと根本的な考え方は同じですが、県や市管理河川下水道からの氾濫についても考慮されているため、高頻度(1/10)や中高頻度(1/30)における浸水範囲や浸水深が異なっています。

従来の水害リスクマップ、浸水深が0cm以上のケース



内外水統合型、浸水深が0cm以上のケース



中小河川や水路等も考慮しているため、従来のリスクマップ(左)よりも内外水統合型(右)において高頻度、中高頻度での浸水範囲が広がっている。

多段階浸水想定図、水害リスクマップの種類

➤ 多段階浸水想定図、水害リスクマップは頻度ごとに複数あり目的に合った図を参照します。

多段階浸水想定図の存在表



頻度の種別	降雨量	内外水統合型	目的
		雨水幹線を含めた35河川	
中低頻度 W=1/100	12時間の総雨量 407mm	HPで公表	1/100程度の降雨による浸水範囲、浸水深が知りたい
中頻度 W=1/50	12時間の総雨量 366mm	HPで公表	1/50程度の降雨による浸水範囲、浸水深が知りたい
中高頻度 W=1/30	12時間の総雨量 335mm	HPで公表	1/30程度の降雨による浸水範囲、浸水深が知りたい
高頻度 W=1/10	12時間の総雨量 268mm	HPで公表	1/10程度の降雨による浸水範囲、浸水深が知りたい

水害リスクマップの存在表

浸水深の種別	内外水統合型	目的
	雨水幹線を含めた35河川	
浸水深0cm以上	HPで公表	少しでも浸水する範囲と頻度が知りたい
浸水深50cm以上	HPで公表	床上浸水する範囲と頻度が知りたい
浸水深3m以上	HPで公表	家屋の2階まで浸水する範囲と頻度が知りたい

